



平成 22 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名：日本オフィス・システム株式会社
 代表者名： 代表取締役会長
 尾崎 嵩
 (コード番号：3790 JASDAQ)
 問合せ先： 常務取締役 会長室長
 和田 文代
 電話番号： 03-5649-6201

平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 4 月 27 日付当社「平成 22 年 12 月期第 1 四半期決算短信（非連結）」において発表いたしました、平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）の業績予想につきまして、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想値の修正

(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(単位：百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	4,543	13	23	12	5 円 74 銭
今回修正 (B)	4,345	△62	△50	△33	△15 円 85 銭
増減額 (B－A)	△198	△75	△73	△45	－
増減率 (%)	△4.3	－	－	－	－
(ご参考) 平成 21 年 12 月期第 2 四半期実績	5,260	166	183	99	47 円 57 銭

2. 業績予想修正の理由

(1) 売上高における事業分野別の状況は以下のとおりとなる見込みであります。

- ①エンタープライズアプリケーション・サービスは、新規受注の減少、案件の小口化により、売上高 8 億 53 百万円、売上総利益 2 億 18 百万円となる見込みであります。
- ②システムエンジニアリング・サービスは、高付加価値導入案件の減少と価格競争の激化により、売上高 4 億 11 百万円、売上総利益 1 億 61 百万円となる見込みであります。
- ③システムマネージメント・サービスは、大口契約の終了、受託運用サービス価格の大幅下落により、売上高 12 億 27 百万円、売上総利益 2 億 82 百万円となる見込みであります。
- ④カスタマーエンジニアリング・サービスは、保守単価の下落、メーカー無償保証期間の長期化に伴う保守市場全体の縮小により、売上高 7 億 29 百万円、売上総利益 1 億 30 百万円となる見込みであります。
- ⑤システム販売事業は、お客様の IT 投資抑制傾向の継続によるサーバー案件の不振、案件の小口化及び価格競争の激化により、売上高 11 億 23 百万円、売上総利益 1 億 29 百万円となる見込みであります。

これにより、売上高は、前回予想より 1 億 98 百万円減少し、43 億 45 百万円となる見込みであ

ります。

- (2) 営業利益・経常利益・四半期純利益については、コスト削減要求及び競争激化による価格下落の影響を大きく受け、前述記載の売上総利益が、計画に対し1億86百万円の減少及び売上総利益率が下落する見込みであります

これに伴い、販売管理費等の削減を継続実施してまいりましたが、営業利益は、前回予想より75百万円減少し営業損失62百万円、経常利益は、前回予想より73百万円減少し経常損失50百万円、四半期純利益は、前回予想より45百万円減少し四半期純損失33百万円となる見込みであります。

- (3) 通期業績予想につきましては、大手顧客のIT投資再開による大型案件の受注や新規ビジネスの引き合いも増加しており、通期業績については据え置いております。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上